授業科目(単位一時間)	時 期	担 当 講 師
成人看護学概論(1 単位—30 時間)	1年 前期	東條 奈穂・内山 真由美

- 1. 発達段階における成人期の特徴と発達課題について理解する。
- 2. 成人期に特徴的な健康問題とその動向について理解する。
- 3. 看護に有用な理論・概念を学び、成人期の対象や看護アセスメントへの活用を考察する。
- 4. 成人期の対象の多様な価値観を尊重する態度を養う。
- 5. 成人期の対象におこる多様な価値観に対応するための協働の効果と必要性を理解する。
- 6. 課題への取り組みを通して、問題解決思考を養う。

0. 味過、10人以り加かる足	世して、问起胜伏心与を食り。		
単元	単元目標	内容	方法
1. 成人期の対象の理解	1. 成人看護の意義と役割を 理解する。 2. 発達段階からみた成人期 の特徴を理解する。 3. 成人期の多様な価値観を 理解する。	1. 成人看護の役割 2. 成長発達の特徴と発達課題 1) 成人各期の特徴と発達課題 2) 成人の成長発達のアセスメント 3. 身体機能の特徴と健康問題 1) 身体機能の変調を来たす要因と看護 2) セクシュアリティの多様性とそれを 支える看護	講義・グループ ワーク (6 時間) 東條 講義・グループ ワーク (2 時間) 東條 講義・グループ ワーク (2 時間) 内山
2. 成人の生活と健康問題	1. 成人の生活スタイルの共 通性を理解する。 2. 成人期の特徴的な健康障 害とその予防のための看 護を理解する。 3. 成人保健の動向と予防活 動について理解する。	1. 成人の生活の理解 1) 生活環境と生活の場 2) 成人各期の生活の特徴 3) 主要な健康観と保健行動 2. 成人保健の動向と予防活動 1) 人口動態・平均寿命 2) 成人を取り巻く労働実態と社会状況 3) 生活習慣病対策 3. 成人期に見られる健康障害と看護 1) 生活習慣病とセルフケア 2) 職業性疾病 3) 生活ストレス	講義(4 時間) 東條 講義・グループ ワーク (4 時間) 東條 講義・グループ ワーク (6 時間) 東條
3. 成人看護に有用な 理論	1. 学習者としての成人の特徴を理解する。 2. 成人教育学の概念を理解する。 3. 成人の理解と看護におけるセルフケアの概念、理論の有用性を知る。	1. 大人の学びの特徴 1) 成人教育学の概念 2) 身体的発達と学習能力 3) 大人の学びの目標 2. 成人教育学を活用した健康教育 3. セルフケア 4. 自己効力理論	講義・グループワーク (6 時間) 東條

〈 評 価 〉

筆記試験60%、提出物40%(課題の提出状況と内容の達成度)を総合して評価する。 なお、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉

安酸史子、鈴木純恵、吉田澄恵編: ナーシング・グ・ラフィカ 成人看護学①成人看護学概論, 大阪, メディカ出版, 276 p 2015. 厚生統計協会: 国民衛生の動向. 2021/2022, 厚生労働統計協会, 2020.

授業科目(単位一時間)	時 期	担当講師
成人看護学 方法論 I (1 単位—30 時間)	1年 前期	東條 奈穂・島本 真純・中村 千春

- 1. セルフケアの再獲得が必要な成人期の対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。
- 2. セルフケアの再獲得が必要な健康課題とその特徴について理解する。
- 3. 中途障害を負った成人期の対象のセルフケア再獲得を支援する看護を理解する。
- 4. セルフケアの再獲得が必要な成人期の対象が心の立て直しを図るための看護を理解する。
- 5. セルフケアの再獲得を支援するチームとその中での看護師の役割を理解する。
- 6. 課題への取り組みを通して、問題解決能力を養う。

単元	単元目標	内容	方法
1. セルフケア再獲得	1. セルフケア再獲得の概念	1. セルフケアの低下状態にある成人の	講義(4 時間)
の理解	を理解する。	理解	東條
√2×±3,1∓	2. セルフケア再獲得が必要	1)成人にとってのセルフケア再獲得	/KI/K
	な成人の健康問題と看護	2)セルフケアの再獲得と自立	
	の目標を理解する。	2. セルフケア再獲得を必要とする成人	
	3. 健康回復に関連する他職	への看護	
	種との連携を考える。	1)セルフケア再獲得を支援する方法	
		2)人権擁護	
2. セルフケア再獲得	1. リハビリテーションの目	1. リハビリテーションとは	講義(2 時間)
を支援する看護	的や考え方を理解し、看	2. リハビリテーションに用いられるチ	東條
	護師の役割を考える。	ームアプローチと看護の役割	
3. 運動機能障害のあ	1. 運動器疾患による日常生	1. 運動機能障害をもつ対象の特徴	講義・演習
る対象の看護	活の影響を理解する。	2. 運動機能障害のアセスメント	(12 時間)
	2. 運動器が障害された対象	3. 運動機能障害の看護の概要	東條
	に対し予防と早期社会復	1)様々な神経障害と看護	
	帰に向けた看護が理解で	2)骨折と看護	
	きる。	3)代表的な検査・治療と看護	
	3. 理論を活用して、看護を	4. 脊髄損傷と看護	
	検討できる。	5. 関節リウマチ(人工関節)と看護	
		6. 下肢切断患者の看護	
4. 脳・神経機能障害の	1. 脳神経疾患による日常生	1.脳・神経機能障害をもつ対象の特徴	講義・演習
ある対象の看護	活の影響を理解する。	2. 脳・神経機能障害のアセスメント	(8 時間)
	2. 脳・神経が障害された対	3. 脳・神経機能障害の看護の概要	中村
	象に対し予防と早期社会	1)特有の症状	
	復帰に向けた看護が理解	(1) 高次脳機能障害 (2) 脳ヘルニア	
	できる。	(3) 頭蓋内圧亢進 (4) 麻痺	
	3. 理論を活用して、看護を	2) 脳死	
	検討できる。	3)代表的な検査・治療と看護	
		脳室ドレナージ	プラムコ / v u+HH/
		4.機能障害と看護	演習(4時間)
		1)摂食・嚥下機能障害と看護	島本

〈 評 価 〉

筆記試験 70%、提出物 30% (課題の提出状況と内容の達成度) を総合して評価する。 なお、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉 このほかのテキストは必要時に説明する 吉田澄恵、鈴木純恵、安酸史子編:ナーシング・グラフィカ 成人看護学②健康危機状況/セルフケアの再獲得,大阪,メディカ出版,331P,2015.

授美	終科目 (単	位—時間)	
成人看護学	方法論Ⅱ	(1 単位—30	時間)

時 期 2年 前期 担 当 講 師 柳町 良子・高橋 正則 能見 真紀子・飯尾 里美

〈 授業科目の目標 〉

- 1. セルフマネジメントが必要な、成人期にある対象と支援者の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。
- 2. セルフマネジメントが必要な、成人期にある対象が自身の療養を管理できるよう導くための看護を理解する。
- 3. 成人学習者の特徴を理解し、セルフマネジメントを促進する看護について理解する。
- 4. セルフマネジメントを支援するチームとその中での看護師の役割を理解する。
- 5. 成人期にある対象の健康問題に、ともに対処する態度を養う。

5. 放入期にある対象の健康問題に、ともに対処する態度を養り。			
単元	単元目標	内容	方法
1. セルフマネジメント	1. セルフマネジメントの概	1. セルフマネジメントとは	講義
の理解	念とそれを支える諸理論	1)慢性病患者の看護目標と看護の役割	グループ
	を理解する。	2)セルフマネジメントに必要な看護職の	ワーク
	2. セルフマネジメントが必	能力	(4 時間)
	要な成人の健康問題と看	2. セルフマネジメントを支える諸理論	柳町
	護目標を理解する。	1)成人教育学 2)エンパワメントモデル	
		3) 自己効力理論	
2. セルフマネジメント	1. セルフマネジメント支援	1. セルフマネジメントの支援	講義・グループ
を推進する看護	にむけた対象理解の方法	1)セルフマネジメントに必要な情報	ワーク
	を理解する。	2)援助方法	(2 時間) 柳町
3. 内分泌・栄養代謝障	1. 栄養代謝障害による日常	1. 内分泌・栄養代謝障害をもつ対象の特徴	講義(2 時間)
害と看護	生活の影響を理解する。	1) 内分泌・栄養代謝障害のアセスメント	柳町
	2. 栄養代謝障害が障害され	2)検査・治療と看護	講義(4 時間)
	た対象のアセスメントが	(1)血糖自己測定 (2)運動・食事療法	飯尾
	でき、セルフマネジメン	(3)インスリン自己注射の指導	
	トを支援する看護を理解	2. 糖尿病と看護	
	する。	3. 成人教育学を使用した患者教育の実際	演習(2時間)
	3. 理論を活用して、看護を	(SMBG シナリオ作成)	柳町
	検討できる。		
4. 内部環境調節機能障	1. 内部環境調節機能が障害	1. 内部環境調節機能障害をもつ対象の特徴	講義(4 時間)
害のある対象の看護	された対象のアセスメン	1) 内部環境調節機能障害のアセスメント	柳町
	トができ、セルフマネジ	(1)肝性脳症 (2)食道静脈瘤 (3)黄疸	
	メントを支援する看護を	2)検査・治療と看護	
	理解する。	(1)インターフェロン療法	
		(2)持続血液ろ過透析・腹膜透析	講義(4 時間)
		2. 肝硬変と看護 3. 腎不全と看護	高橋
5. 呼吸機能障害と看護	1. 呼吸機能障害が対象の日	1. 呼吸機能障害をもつ対象の看護	講義(4 時間)
	常生活に与える影響を理	1) 呼吸器疾患のアセスメント	能見
	解する。	2)検査・治療と看護	
	2. 呼吸機能が障害された対	(1)侵襲的・非侵襲的陽圧換気	
	象のアセスメントができ	(2)動脈血ガス	
	セルフマネジメントを支	(3)酸素療法 (4)喀痰吸引	演習(4 時間)
	援する看護を理解する。	2. COPD と看護	柳町

〈 評 価 〉筆記試験7割、提出物3割を総合して評価する。

〈 テキストおよび参考文献 〉 この他のテキストは必要時講義内で説明する

安酸史子,鈴木純恵,吉田澄恵編: ナーシング が ラフィカ 成人看護学③セルフマ 衫 メント,第3版,大阪,メディカ出版,248P,2015.本庄恵子,吉田みつ子監修:新訂版写真でわかる臨床看護技術1アドバンス[Web 動画付],初版,東京,インターメディカ,196p,2020.

授美	業科目 (単	位—時間)
成人看護学	方法論Ⅲ	(1 単位-30 時間)

時期2 年前期

担 当 講 師 東條 奈穂・山口 理恵 新村 智宏・江崎 夕香里

〈 授業科目の目標 〉

- 1. 健康危機状況が成人期の対象と支援者に及ぼす身体的・精神的・社会的影響を理解する。
- 2. 健康危機状況を引き起こす健康課題とその特徴について理解する。
- 3. 健康危機状況にある成人期の対象の回復と適応を促す看護について理解する。
- 4. 健康危機状況にある成人期の対象とその家族の不安や負担を軽減するための看護を理解する。
- 5. 健康危機状況にある成人期の対象とその家族を支援するチームの中での看護師の役割を理解する。
- 6. 課題への取り組みを通して問題解決思考を養う。

6. 課題への取り組みを	囲して問題解决思考を養り。		
単元	単元目標	内容	方法
1. 健康危機状況の理	1. 健康危機状況の概念と、	1. 成人にとっての健康と危機	講義(4時間)
解と看護	健康危機状況にある成人の	2. 健康危機状況にある対象の特徴と看護	東條
	特徴を理解する。	3. 健康危機状況と理論	
	2. 健康危機状況における看護	4.5 つのセルフケア不足に対する看護方	
	に有用な理論を知る。	法の検討	
2. 健康危機状況によ	1. 侵襲と生体反応による心身	1. 侵襲に対する生体反応	講義(2時間)
っておこる生体の	への影響を理解する。	1) 恒常性の維持と侵襲による影響	東條
変化と看護		2. さまざまな侵襲(手術・外傷・感染)	
3. 侵襲的治療と看護	1. 周術期にある成人の特徴を	1. 周術期にある成人の特徴と看護	講義(2時間)
	理解する。	1) 周術期外来の役割	東條
	2. 周術期看護の特徴に応じた	2) 周術期における意思決定支援	講義(4時間)
	看護を理解する。	3) 周術期看護における倫理的ジレンマ	江崎
		4) 手術後の早期離床と看護	
4. 救急看護の基礎と	1. 救急医療の現状と看護の役	1. 救急医療の現状	講義(4 時間)
実際	割を理解する。	2. 救急看護の役割	山口
	2. 救急患者発生時の看護を理	1) 初期情報の迅速な収集	演習(2時間)
	解する。	2) 患者・家族の心理への支援	新村
		3. 救急患者発生時の看護	
		1)一時救命処置の実際	
5. 消化・吸収機能障害	1. 消化・吸収機能障害による	1. 消化・吸収機能障害をもつ対象の特徴	講義(6時間)
のある対象の看護	日常生活の影響を理解す	1)消化・吸収機能障害のアセスメント	東條
	る。	2)検査・治療と看護	
	2. 消化・吸収機能が障害され	(1)上部・下部消化管造影	
	た対象のアセスメントがで	2. 消化・吸収機能障害のある対象の看護	
	き、合併症の予防と回復促	1) 胃がん 2) 大腸がん	
	進に必要な看護を考える。	3. 手術後の早期離床	
6. 循環機能障害のあ	1. 循環機能障害による日常生	1. 循環機能障害をもつ対象の特徴	講義(6時間)
る対象の看護	活の影響を理解する。	1)循環機能障害のアセスメント	東條
	2. 循環機能が障害された対象	2)検査・治療と看護	
	のアセスメントができ、合	(1)心臓カテーテル検査(2)冠動脈バイパス術	
	併症の予防と回復促進に必	2. 心筋梗塞と看護	
	要な看護を考える。	3. 心不全と看護	

〈評価〉

筆記試験70%、提出物30%(課題の提出状況と内容の達成度)を総合して評価する。

なお、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉 このほかのテキストは必要時講義内で説明する

吉田澄恵、鈴木純恵、安酸史子編:ナージング・グブラフィカ 成人看護学②健康危機状況/セルフケアの再獲得,大阪, メディカ出版, 331P, 2015. 中島恵美子、山崎智子、竹内佐智恵編:ナージング・グブラフィカ 成人看護学⑤周術期看護,大阪, メディカ出版, 296 p, 2017.

授業科目(単位一時間) 成人看護学方法論IV(1単位-30時間)

時 2年 後期 担 当 講 師 槙 麻夕子・大嶋 守・森井佳奈 島本真純・高橋里佳

〈授業科目の目標〉

- 1. 緩和ケアの概要と緩和ケアの広がりに伴う看護の役割を理解する。
- 2. 緩和ケアの対象と QOL を支える全人的ケアについて、身体的・心理的・社会的ケアの特徴から理解する。
- 3. 緩和ケアにおける家族ケア、医療スタッフのケアについて理解する。
- 4. がん患者の特徴及び治療の概要と看護について理解する。
- 5. 課題への取り組みを通して、死生観を養う。

	ど囲しく、外生観を養り。			
単元	単元目標	内容	方法	
1. 緩和ケアの概要	1.生と死について、自分	1. 命と命の終わりについて考える	講義・グルー	プワーク
	も含めて考えること	(もしバナゲーム活用による対話)	(10 時間)	槙
	ができる。	2. 緩和ケアの歴史と発展		
	2. 緩和ケアの基本的な	3. 緩和ケアの理念		
	考え方を理解できる。	4. 緩和ケアとチームアプローチ		
	3. 緩和ケアにおける看	5. 緩和ケアとコミュニケーション		
	護の役割を理解でき	6. 緩和ケアにおける倫理的課題		
	る。	7. 緩和ケアの広がり		
		(ライフサイクル、疾患、療養の場)		
		8. 家族のケア		
		9. 医療スタッフのケア		
2. 緩和ケアの実際	1. 身体的・精神的苦痛・	1. QOL を支える全人的緩和ケアの実際	講義(4時間)	森井
	社会的苦痛を緩和す	1)身体的苦痛のマネジメントとケア		
	る看護について理解	(1)がん性疼痛の特徴と緩和		
	できる。	(2)呼吸器症状		
	2. 対象とその家族に対	(3)消化器症状		
	する QOL を支えるため	(4)その他症状(浮腫・倦怠感・貧血等)		
	の看護について理解	2)緩和ケアにおける口腔ケア	講義(2 時間)	島本
	できる。	2. 心理的・社会的ケア、家族ケアの実際	講義(2時間)	森井
		3. 臨死期のケア		
3. がん看護	1. がんを患う対象とそ	1. がん患者の特徴	講義 (10 時間)大嶋
	の家族の QOL を支える	1)がん患者の健康問題と特徴		
	ための看護を理解で	2)がんの病態と疫学		
	きる。	3)がんの予防と早期発見		
	2. がん治療の概要と看	2. がん患者に対する継続支援		
	護を理解できる。	1)がん対策基本法		
		2)がんサバイバーとリハビリテーショ		
		ン		
		3. がんの診断・治療の概要と看護		
		1)診断に必要な検査(骨髄検査等)		
		2)放射線療法と看護		
		3)手術療法と看護		
		4)補完代替療法と看護		
		5)化学療法を受ける患者の看護	講義 (2 時間)	高橋
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

〈 評 価 〉 筆記試験9割 提出物1割を総合して評価する。

〈 テキストおよび参考文献 〉

小松浩子他:系統看護学講座 別巻 がん看護学,第2版,東京,医学書院,328P,2017.

恒藤暁・田村恵子:系統看護学講座 別巻 緩和ケア,第3版,東京,医学書院,P296,2020.

授業科目	(1単位-	30 時間	間)
成人看護学	方法論V	(単位-	-時間)

時 2年 前期 担当講師亀井聡子江崎夕香里・佐々木恵理香

〈 授業科目の目標 〉

- 1. 紙上事例を通して、成人期の対象を統合的に理解し、疾患を持った成人期の対象とその支援者に必要な看護を科学的根拠に基づいて考える。
- 2. 手術により健康危機状況にある成人期の対象と支援者の個別性に合わせ、2 次的障害の予防と回復促進にむけた看護を理解する。
- 3. 既習の知識を活かして、主体的に看護過程を展開する能力を身につける。

3. 以日 V X PII K で 1日 77 で く	、土体がに有護地性を展開り	る形力で対につける。	
単元	単元目標	内容	方法
1. 成人期の対象の看護	1. 手術をうける成人期の	1. 周術期にある対象のアセスメント	講義(4 時間)
過程の展開	対象の身体的・精神的・社会的特徴をふまえ、2次的障害の予防と回復促進のための看護を理解する。	1. 冷川朔州にのる対象の)とスプラー 1) 2 次的障害の予防と回復促進への看護 2) 常在条件と病理的状態、生活背景と 個人的要因の関連性の理解 3) 共同問題の抽出 4) ニードの未充足の分析 2. 看護診断 1) 看護問題の統合の判断 2) 優先順位の判断 3. 看護計画の立案 1) 術後のフィジカルアセスメント 2) 合併症の予防と早期離床を目指す看護 3) 自己効力支援	看護過程演習 (22 時間)
2. 周手術期の看護の実際	1. 既習の知識を活用し、対象に必要な看護を計画・立案し、実施する。	1. 術後 1 日目のフィジカルアセスメントの実践	演習(4 時間)

〈評価〉

評価表に基づき評価する。

〈 テキストおよび参考文献 〉*このほかに必要なテキストは、適宜提示する。

秋葉公子、江崎フサ子、玉木ミョ子、村中陽子:看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践,東京,ヌーヴェルヒロカワ,第4版,172p,2013.

中島恵美子、山崎智子、竹内佐智恵編: ナーシング・グラフィカ 成人看護学④周術期看護, 大阪, メディカ出版, 第3版, 294 p, 2018.

授業科目(単位一時間)	時 期	担 当 講 師
老年看護学 概論 (2 単位—30 時間)	1年 前期・後期	槙 麻夕子

- 1. 老年期の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。
- 2. 高齢者との関わり方やコミュニケーションのあり方を学び実践できる。
- 3. 高齢者のポジティブな側面をふまえ老年観を表現できる。
- 4. 高齢社会の特徴を学び、より健康な生活を送るために必要な老年看護における協働及び社会資源を理解する。
- 5. 高齢者の自己決定や生きてきた過程を尊重する倫理的態度を養う。

単元	単元目標	内容	方法
1. 老年期の概念と老	1. この科目の進め方と学	1. 高齢者のイメージの明確化	講義(4 時間)
年期の理解	ぶ意義を理解する。	2. 高齢者の特徴と理解	
	2. 老年期の概念を学び、ラ	1)老いるということ(加齢と変化)	
	イフサイクルにおける	2) 高齢者の定義	
	老年期の位置づけを理	3)発達と成熟(発達課題、健康)	
	解する。	3. 老年看護のなりたちと役割	
	3. 老年看護の役割を理解	4. 老年看護における理論・概念の活用	
	する。		
2. 高齢者の理解	1. 高齢者の身体的・精神	1. 地域で健康的に生活している高齢者	地域演習[高齢者フ
	的・社会的特徴を理解す	の理解	ェスティバルへの
	る。	2. 高齢者類似体験	参加] (4 時間)
	2. 高齢者のヘルスアセス	3. 高齢者のヘルスアセスメント	学内演習(2時間)
	メントの基本を理解す	1)ヘルスアセスメントの基本	講義・GW (6 時間)
	る。	2)身体の加齢変化とアセスメント	講義(4 時間)
		4. 高齢者とコミュニケーション	
		5. 高齢者のセクシュアリティ	
		6. 高齢者の社会参加	
3. 高齢者を取り巻く	1. わが国の人口高齢化の	1. わが国の超高齢社会の統計的輪郭	講義・GW(6 時間)
社会	特徴と、高齢者の生活へ	(暮らし、健康状態、死亡に関わる現状)	
	の影響を理解する。	2.40~50年後の社会 (予測について)	
4. 高齢社会における	1. 高齢者の暮らしを支え	1. 保健医療福祉制度の変遷	講義・個人ワーク
保健医療福祉の動	る制度や社会資源の概	(地域包括ケアシステム)	(ノート作り)
向	要を理解する。	2. 介護保険制度	(4 時間)
	2. 長寿を生きる社会生活	3. 高齢者医療のしくみ	
	の条件について理解す	(高齢者医療確保法)	
	る。	4. 高齢者を支える多職種連携と看護活	
		動の多様化(職種)	
		5. 保健医療福祉施設および居住施設と	
		看護	
		1)介護保険施設	
		2) 地域密着型サービス	
		6. 自己の老年観と老年看護観	

〈 評 価 〉筆記試験 (8割)、演習態度及びレポート評価 (2割) で総合評価する。 ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉

北川公子他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学,東京,医学書院,第9版,456P,2018.

鳥羽研二他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態·疾患論,東京,医学書院,第5版,336P,2018.

山田律子・井出訓編:生活機能からみた 老年看護過程+病態・生活機能関連図,東京,医学書院,第4版,560P,2020.

国民衛生の動向・厚生の指標,2021/2022,厚生労働統計協会,2021.

- 〈 授業科目の目標 〉
- 1. 高齢者を生活者として捉え、生活機能の観点からアセスメントし QOL を支える看護を理解する。
- 2. 高齢者のもてる力を発揮させ、より健康的な生活を支える看護を考える。
- 3. 認知症の概要と、認知症高齢者の言葉・行動・思いを尊重したケアを理解し、認知症高齢者や支援者と人間関係を 発展させる能力を養う。
- 4. 高齢者の自己決定や生きてきた過程を尊重する倫理的態度を養う。

	生さてさた過程を导車する倫地		
単元	単元目標	内容	方法
1. 高齢者の生活理解	1. この科目の進め方と学		講義・GW・演習
とQOLを支える看護	ぶ意義を理解する。	てる力への着眼	DVD 視聴
	2. 高齢者を生活者として	1) 高齢者のコミュニケーション能力の変	(14 時間)
	捉えるために必要なア	化による生活への影響と支援	更谷
	セスメントの視点を理	2) 高齢者の食生活と豊かにする看護	
	解する。	3) 排泄に関する障害のアセスメントと支	
	3. 生活行動モデルを基盤	援	
	に、もてる力に着眼した	4)運動・休息・睡眠を支える看護	
	ケアを理解する。	(1)高齢者の特徴・アセスメントと支援	
	4. 柔軟な発想で高齢者の	(2) 高齢者の活動性と維持・拡大に繋がる	
	より健康的な生活支援	健康支援(老人クラブ訪問準備)	
	が考えられる。	(3) 生活リズム	
		5)身支度を支える看護	
		(1)清潔・入浴にみられる身体の変調とア	
		セスメントとケア	
		(2)高齢者の口腔ケアと義歯取り扱い	
		(3)おしゃれに対する意識を支え身支度を	
		支えるケア	
2. 認知機能障害のあ	1. 認知症の概要を理解す	1. 認知症の疾患と特徴の理解	講義 (8 時間)
る高齢者の看護	る。	1)病態 2) 症状 3) 診断·治療	福田
	2. 認知症高齢者とのコミ	2. 認知症高齢者とのコミュニケーション	
	ュニケーションのあり	のあり方	
	方を理解する。	3. 認知症高齢者の言葉・行動・思いを尊重	
	3. 認知症高齢者の言葉・行	したケア	
	動・思いを尊重したケア	1) 中核症状のケア	
	を理解する。	2)行動・心理症状(BPSD)のケア	
	4. 認知症高齢者を支える	4. パーソン・センタード・ケア	
	介護者・家族へのケアを	5. 認知症高齢者へのケアの実際	講義 (2 時間)
	理解する。	(PSW の立場から)	江畑
	5. パーソン・センタード・	6. 認知症高齢者を支える介護者・家族への	地域演習
	ケアについて考えを深	ケア[認知症家族会との GW]	(4 時間) 更谷
	められる。	7. 高齢者のうつと看護	講義 (2 時間)
	6. うつ、せん妄の高齢者の	8. 高齢者のせん妄と看護	更谷
	特徴と看護を理解する。		

評価 > 筆記試験 (8割)、レポート・グループワーク資料及び参加態度 (2割) で総合評価する。 ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉

北川公子他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学,東京,医学書院,第9版,456P,2018.

鳥羽研二他:系統看護学講座 専門分野II 老年看護病態·疾患論,東京,医学書院,第5版,336P,2018.

山田律子・井出訓編:生活機能からみた 老年看護過程+病態・生活機能関連図,東京,医学書院,第4版,560P,2020.

水野 裕: 実践パーソン・センタード・ケア, 東京, ワールドプランニング, 149P, 2008.

授業科目(単位一時間)	時 期	担 当 講 師
老年看護学 方法論Ⅱ(1単位─30時間)	2年 前期・後期	槙 麻夕子・田尻 美紀・石塚 仁美

- 1. 健康上の課題のある高齢者と支援者を支える看護を理解する。
- 2. 高齢者のもてる力を発揮させ、より健康的な生活支援の実際を理解する。
- 3. 治療や様々な健康段階にある高齢者と支援者への看護を理解する。
- 4. 高齢者の自己決定や生きてきた過程を尊重する倫理的態度を養う。
- 5. 自己の老年観を表現し、老年看護の課題を考える。

5. 自己の老年観を表現	し、老年看護の課題を考える。		
単元	単元目標	内容	方法
1. 老年症候群とフレ	1. 老年症候群やフレイルの概要	1. 老年症候群の特徴	講義
イル	を理解する。	2. フレイルと予防(サルコペニア含む)	(2時間) 槙
	2. 廃用症候群のアセスメントと	3. 廃用症候群のアセスメントと看護	
	予防への看護を理解する。	4. 転倒のアセスメントと看護	
	3. 褥瘡・スキンテアの予防とケ	5. 褥瘡・スキンテアの予防と看護	
	ア計画について理解する。	(1)褥瘡のリスクアセスメント	講義
		(2)褥瘡予防の看護計画、評価	(2時間) 石塚
		(3) スキンテア	
		(4)失禁している患者の皮膚・粘膜保護	
2. 高齢者のヘルスプ	1. 高齢者の健康支援の実際を知	1. 高齢者とヘルスプロモーション	講義·地域演習
ロモーション	り、もてる力の発揮に繋がる	2. 地域で生活する高齢者の健康支援の	(6 時間) 田尻
	健康支援の理解を深める。	実際[介護予防教室への参加]	
3. 高齢者の健康逸脱	1. 高齢者の疾患の特徴を理解す	1. 高齢者に多い健康障害と看護	講義・GW
から回復を促す看	る。	1)正常な機能とその変化(加齢変化を	(6 時間) 田尻
護主な疾患・障害に	2. 身体疾患のある高齢者の看護	ふまえた病態)	
対する看護	を理解する。	2)治療・症状の意味と生活への影響	
		3)生命を守り生活過検査受ける高齢者	
		の程を整える看護	
4. 治療を必要とする	1. 薬物療法や検査及び手術を受	1. 薬物療法を受ける高齢者の看護	講義(4 時間)
高齢者と支援者へ	ける高齢者と支援者への看護	2. 検査・手術を受ける高齢者の看護	槙
の看護	を理解する。	3. リハビリテーションを受ける高齢者	
		の看護	
		4. 入院治療を受ける高齢者の看護	-11.31
5. 高齢者の終末期と	1. 高齢者の尊厳を守るエンドオ	1. 終末期とエンドオブライフケア	講義・GW
エンドオブライフ	ブライフケアと家族支援の概	2. 生ききることを支えるケア	(4 時間) 槙
ケア	要を理解する。	3. 意思決定支援 4. 末期段階の苦痛緩和と家族支援	
		5. 在宅医療とエンドオブライフケア	
6. 高齢者のリスクマ	1. 高齢者特有のリスクマネジメ		建 美
0. 向即有のリスクマーネジメント	1. 尚断有特有のリスクマインメントと災害支援の概要を理解	1. 高齢者特有のリスク要因 2. 高齢者特有の医療事故と対応	講義 (2時間) 槙
		2. 尚断有符句の医療事故と対応	(4时间) 俱
	する。 1. 高齢者医療の課題を理解す	3. 火青にわける尚断有の肥効性と叉抜 1. 高齢者医療の課題と重要性	講義・GW
		1. 同野自 医療り 課題と 重要性 2. 高齢者の権利擁護	
課題	る。 2. 高齢者の自己決定を尊重する	2. 同間内の対象が対象を 1) 高齢者虐待と身体拘束	(4 時間) 槙
		2)権利擁護の制度	
	権利について理解する。	3. 高齢者の自己決定尊重を目指す検討	
(! 試験 (8 生!) レポート・グループロ	7	

〈 評 価 〉筆記試験(8割)、レポート・グループワーク及び演習態度(2割)で総合評価する。 ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉

北川公子他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学,東京,医学書院,第9版,456P,2018.

鳥羽研二他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態·疾患論,東京,医学書院,第5版,336P,2018.

山田律子・井出訓編:生活機能からみた 老年看護過程+病態・生活機能関連図,東京,医学書院,第4版,560P,2020.

宮坂道夫:系統看護学講座 別巻 看護倫理,東京,医学書院,第2版, P231,2018.

授業科目(単位一時間)	時 期	担 当 講 師
小児看護学 概論(2 単位—30 時間)	1年 後期	加藤 恵・野田 孝子・鶴 有希

- 1. 小児期が人間としての基盤を形成する重要な時期であることを理解できる。
- 2. 小児各期の成長発達と成長発達に応じた養育について理解できる。
- 3. 小児や家族を取り巻く諸制度や小児看護の役割について理解できる。

単元	単元目標	内容	方法
1. 小児看護の役割	1. 小児医療・看護の変遷に	1. 小児とは	講義(4 時間)
	ついての学びから小児看	2. 小児看護の変遷	加藤
	護の課題について考える	1) 小児観の変遷	
	ことができる。	2) 小児医療・看護の変遷	
	2. 小児看護の役割を理解で	3. 小児看護の課題	
	きる。	4. 小児看護の役割と特徴	
		1) 小児看護の対象	
		2) 小児看護の役割と倫理	
		3) 小児の特徴と看護	
2. 小児の成長発達の	1. 成長発達の原則について	1. 成長発達とは	講義(4 時間)
原則	理解できる。	1) 言葉の定義	加藤
	2. 主な発達理論について理	2)発達段階の区分	
	解できる。	3)成長発達の原則	
		4)成長発達に影響する因子	
		2. 成長発達と理論	
3. 小児各期の成長発達	1. 小児各期の成長発達につ	1. 小児の成長発達	講義・GW
と養育	いて理解できる。	1) 形態的成長	(12 時間) 加藤
	2. 小児の成長発達に応じた	2)機能的発達	
	基本的生活習慣と養育に	2. 成長発達の評価	
	ついて理解できる。	3. 小児各期の成長発達と養育	
		1)新生児期・乳児期	
		2) 幼児期	
		3) 学童期・思春期	
4. 小児と人権	1. 子どもの権利を守る社会	1. 小児の権利	講義(4 時間)
	システムについて理解で	1)児童憲章	在鳥
	きる。	2) 児童福祉法	
	2. 児童虐待の現状が理解で	3)子どもの権利条約	
	きる。	2. 小児と意思決定	
		3. 小児に対する権利の侵害	
		1) 児童虐待	
5. 小児の健康と社会	1. 小児保健の動向について	1. 小児をめぐる諸統計	講義(4時間)
	理解できる。	2. 小児を取り巻く環境	加藤
	2. 小児の健康を守る社会シ	3. 小児の健康と社会システム	
	ステムについて理解でき	1) 母子保健法 2) 予防接種法	
	る。	3) 学校保健法 4) 医療費の支援	
		5) 特別支援教育	講義(2時間)
			野田

〈 評 価 〉筆記試験 (8割)、提出物及び演習態度 (2割) で総合評価する。 ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉

奈良間美保他 : 系統看護学講座専門分野 II 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護学総論,第 14 版,東京,医学書院,548p,2020.

授業科目(単位一時間)	時 期
小児看護学 方法論 I (1 単位—30 時間)	2年 前期

担 当 講 師 加藤 恵・野田 孝子・鶴 有希・宮本 由美子 北井 真由美・加藤 めぐみ・川島 美香

- 〈 授業科目の目標 〉
- 1. 健康障害をもつ小児と状況に応じた看護について理解できる。
- 2. 小児の成長発達に必要なあそびについて理解できる。
- 3. 健康障害の経過における特徴とそれを踏まえた小児と家族への看護について理解できる。
- 4. 小児に特徴的なアセスメントについて理解できる。
- 5. 小児の成長発達を踏まえ、症状を示す小児の看護を理解できる。

0. 1 7 1 1 7 7 7 7 TO THE COM	S/C / / / / / / / / / / / / / / / / / /	TO 11 C C C C C C C C C C C C C C C C C C	
単元	単元目標	内容	方法
1. 病気・障害を持つ子	1.病気・障害が子どもと家族	1. 病気・障害に対する子どもと家族の	講義 (2 時間)
どもと家族の看護	に与える影響を理解でき	反応	野田
	る。	2. 健康問題を持つ子どもと家族の看護	
	2.健康問題を持つ子どもと家	の方向性	
	族への看護を理解できる。	1)子どもの治療・健康管理にかかわる	
		看護	
		2)子どもの日常生活にかかわる看護	
		3) 健康問題を持つ子どもの家族の看	
		護	
2. 小児の状況(環境)	1. 小児病棟・外来の特徴と健	1. 病院と小児	講義 (2 時間)
に特徴づけられる	康障害を持つ小児とその家	1) 小児の入院生活と看護	加藤
看護	族への看護を理解できる。	2) 小児外来における看護の役割	
	2. 小児における継続看護を理	2. 災害時の小児と家族	
	解できる。	3. 在宅療養の子どもと家族	
	3. 災害が小児と家族に与える	1)在宅医療と看護	講義(2 時間) 鶴
	影響とその看護を理解でき	2)在宅療養の場(そらぷちキッズキャ	講義(2時間) 北井
	る。	ンプの活動から)	
		3) 児童発達支援	講義(2時間) 宮本
3. 小児における疾病	1. 小児の疾病の経過において	1. 急性期の小児と家族の看護	講義 (2 時間)
の経過と看護	の特徴を理解できる。	2. 慢性期の小児と家族の看護	加藤
	2.疾病の経過においての小児	3. 周手術期の小児と家族の看護	講義(6時間)
	と家族への看護を理解でき	4. 終末期の小児と家族の看護	隺鳥
	る。		
4. 小児のアセスメン	1. 小児に特徴的なアセスメン	1. アセスメントに必要な技術	講義 (2 時間)
١	ト技術を理解できる。	2. 身体的アセスメント	加藤
	2. 小児に特徴的な身体的アセ		演習(4時間)
	スメントを理解できる。		加藤
5. 症状を示す小児の	1. 小児の成長発達を踏まえた	1. 脱水(発熱・下痢・嘔吐)	講義(6時間)
看護	症状のメカニズムを理解で	2. 痛み	加藤
	きる。		
	1	I .	1

〈 評 価 〉 筆記試験 (9割)、提出物 (1割) を総合して評価する。 ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉

奈良間美保他: 系統看護学講座専門分野 II 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護学総論,第 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護学総論,第 [1] 版,東京,医学書院,[1] 548p, 2020.

奈良間美保他:系統看護学講座専門分野 II 小児看護学[2] 小児臨床看護各論,第 14 版,東京,医学書院,600p,2020.

山元恵子:新訂版 写真でわかる小児看護技術アドバンス[Web 動画付],初版,東京,株式会社インターメディカ,208p,2020.

授業科目(単位─時間) 小児看護学方法論Ⅱ(1 単位─30 時間) 時 2年 後期 担 当 講 師 柳町 良子・加藤 恵 鶴 有希

〈 授業科目の目標 〉

- 1. 既習の知識を用いて小児に特徴的な疾患のメカニズムと症状を理解する。
- 2. 小児の特徴を踏まえ、健康障害を持つ児と家族の苦痛を軽減するための看護を考える。
- 3. 成長発達を踏まえ、健康障害を持つ児の日常生活援助を考える。

		·	
単元	単元目標	内容	方法
1. 染色体異常・胎内環	1. 染色体異常・胎内環境により	1. 先天性疾患の病態	講義(4 時間)
境により発症する	発症する先天異常の病態を理	2. 先天疾患の児と家族への看護につ	鶴
先天異常を持つ小	解する。	いて考える	
児の看護	2.1.を踏まえた小児と家族への	3. NICU の看護	
	看護を考えることができる。		
2. アレルギー性疾患	1. アレルギー性疾患の病態を理	1. <事例>気管支喘息	講義・GW
と看護	解する。	1)気管支喘息のメカニズム	(6 時間) 加藤
	2.1.を踏まえた小児と家族への	2)1)を踏まえた日常生活援助とセル	
	看護を考えることができる。	フケアを促す看護	
3. 感染症と看護	1. 小児に特徴的な感染症を理解	1. 症状と感染経路	講義・GW
	できる。	1)主なウィルス感染症	(4 時間) 加藤
	2. 感染症の予防と対処について	2. 感染予防と罹患した児と家族への	
	理解できる。	看護	
4. 循環器疾患を持つ	1. 小児に特徴的な心疾患の病態	1. 小児の循環器の病態	講義・GW
小児の看護	を理解できる。	2.1.を踏まえた児と家族への看護	(4 時間) 柳町
	2.1.を踏まえた小児と家族への	<事例>川崎病	
	看護を考えることができる。		
5. 腎疾患を持つ小児	1. 小児に特徴的な腎疾患の病態	1. <事例>ネフローゼ症候群	講義・GW
の看護	を理解できる。	1)ネフローゼ症候群のメカニズム	(4 時間) 柳町
	2.1.を踏まえた小児と家族への	2)日常生活の制限や長期療養による	
	看護を考えることができる。	苦痛を軽減する看護	
6. 運動器疾患と看護	1. 運動器疾患の病態を理解でき	1. <事例>骨折	講義・GW
	る。	1) 骨折の病態	(4 時間) 柳町
	2.1.を踏まえた小児と家族への	2)手術を受ける小児と家族への看護	
	看護を考えることができる。		
7. 検査・処置を受ける	1. 小児に特徴的な看護技術を安	1. 与薬・輸液管理と固定交換	講義・演習
小児の看護	全・安楽に実施する方法を理	2. 抑制	(4 時間) 加藤
	解する。	3. プレパレーション	
	2. 検査・処置を受ける小児の苦	4. 救命処置	
	痛や不安を軽減するための看		
	護を考えることができる。		
		 アニア/m トフ	<u> </u>

〈 評 価 〉 筆記試験 (7割)、提出物 (3割) を総合して評価する。 ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

奈良間美保他: 系統看護学講座専門分野 II 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護学総論,第 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護学総論,第 [1] 版,東京,医学書院,536p,2020.

奈良間美保他:系統看護学講座専門分野 II 小児看護学[2] 小児臨床看護各論,第 14 版,東京,医学書院,600p,2020

山元恵子:新訂版 写真でわかる小児看護技術アドバンス[Web 動画付],初版,東京,株式会社インターメディカ,208p,2020.

授業科目(単位-時間)	時 期	担 当 講 師
母性看護学 概論(1 単位-30 時間)	2年 前期	野田 孝子

- 1. 母性の概念を多側面からとらえ、リプロダクティブヘルスを支える看護の役割が理解できる。
- 2. 女性の生涯を通じた性と生殖の健康を考え、母性看護の意義を理解することができる。
- 3. 新たな生命を育む性としての自己の立場を通して健康観や生命観を養う。

3. 新たな生命を育む	性としての目己の立場を通して	健康観や生命観を養り。	
単元	単元目標	内容	方 法
1. 母性看護学の概	1. 母性とはなにかを幅広く	1. 母性の概念	講義・VTR 視聴
念と理論	考えることができる。	2. 母性看護の対象・目的	(4 時間)
	2. 母性看護の対象者、看護の	3. 母性看護の視点	グループワーク
	目的が理解できる。	1) リプロダクティブヘルス/ライツ	(2 時間)
	3. 母性看護における倫理的	2)人間の性と生殖(セクシュアリティ)	
	ジレンマを考えることが	3)セルフケア/ヘルスプロモーション	
	できる。	4)親となる過程と母性	
		4. 母性看護における倫理的ジレンマ	
		1)生命倫理と倫理的意思決定	
2. 母性看護の対象	1. 母性看護に関する組織や	1. 母性看護の場と職種	講義・グループワー
を取り巻く社会	法律、母子保健施策が理解	2. 母子保健の動向-母子保健統計-	ク (8 時間)
	できる。	1)出生に関する統計	
	2. 母性を取り巻く環境の特	2)死亡に関する統計	
	徴とその影響について理	3. 母子保健行政と制度	
	解できる。	1)妊娠分娩育児を支援する法律・施策	
		4. 母性機能に影響を及ぼす環境	
		1)家族	
		2) 地域社会	
		3)社会文化的環境	
		4) 生物学的環境	
3. 母性看護の対象	1. 月経周期による女性の心	1. 生命の始まりとは	講義・VTR 視聴
理解	身の変化が理解できる。	2. 性分化	(6 時間)
	2. 性分化のしくみとおもな	1)性分化のメカニズム	
	性分化疾患を理解できる。	3. 生殖器の形態・機能	
		4. 受精のメカニズム	
		5. 性周期とホルモン	
		1) 視床下部ホルモン	
		2)下垂体ホルモン	
		3) 卵胞ホルモン・黄体ホルモン	
		6. 女性の性機能から見たライフステージ	
4. 性機能がダイナ	1. 思春期・更年期の身体的・	1. 思春期の健康と看護	講義・グループワー
ミックに変化す	心理的・社会的特徴と看護	1)月経異常 2)性に関する健康課題	ク(10 時間)
る時期の看護	が理解できる。	2. 更年期の健康と看護	
		1) 更年期女性の心身の変化	
		2) 更年期に伴う症状の緩和	
/ *** / *** \			•

〈評価〉

筆記試験 (8割)、提出物・授業態度・出席状況 (2割) を総合して評価する。

ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉

森恵美他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学1 母性看護学概論,第14版,東京,医学書院,376p,2021.

授業科目(単位-時間)	時 期	担 当 講 師
母性看護学 方法論 I(1 単位-15 時間)	2年 後期	亀井 聡子

- 1. 胎児の発育と妊婦の心身の特徴や変化を理解し、健康的で正常な妊娠の経過が理解できる。
- 2. 成人期女性のセルフケア能力を活かして、安全な出産への準備期間を支援する看護の役割が理解できる。
- 3. 羞恥心がともなう母性看護技術を通して、対象と環境に配慮するための態度を養う。

単元	単元目標	内容	方 法
1. 妊娠期の対象 理解	1. 妊娠期の対象理解に必要な基礎知識が理解できる。 2. 胎児と胎児付属物について理解できる。 3. 妊娠に伴う母体の身体的・心理的・社会的変化が理解できる。	1. 妊娠期の3つの視点、妊娠期間、診断2. 胎児付属物、胎児の発育経過、胎児健康評価(NST)3. 催奇形因子、胎児循環4. 受精と胎児の発育に伴う妊婦の身体的変化1) 妊娠の維持と胎児発育のためのホルモン変化2) 生殖器系の変化3) 妊娠に伴う生殖器以外の変化4) 胎児の発育5. 妊娠に伴う心理社会的変化と看護1) 妊娠と危機・ストレス・喪失2) 妊娠各期の情緒的変化3) 心理社会的な適応を支える看護	講義・VTR 視聴・ グループワーク (8 時間)
2. 妊娠期の対象に 必要な看護	 妊娠中の日常生活を健やかに過ごすための看護が理解できる。 出産・育児の準備に向けて、支援のポイントが理解できる。 妊娠中に起こりやすい不快症状の発症機序と看護が理解できる。 妊娠期に起こりうる異常とその看護が理解できる。 	1. 妊婦の日常生活と看護 1) 妊婦健康診査 2) 妊娠各期の保健指導 3) 食生活・排泄・皮膚粘膜の健康状態を整える看護 4) 活動と休息を整える看護 5) 妊娠中の性生活と看護 2. 出産・育児の準備と看護 3. 妊娠中に起こる不快症状と看護 4. 妊娠期に特有な健康問題と看護 1) 切迫流早産 2) 妊娠高血圧症候群 3) 常位胎盤早期剥離 4) 妊娠貧血 5) 妊娠糖尿病 6) 多胎	講義 (2 時間) 演習 (6 時間)

〈評価〉

筆記試験(8割)、提出物・授業態度・出席状況(2割)を総合して評価する。 ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉

森恵美他:系統看護学講座 専門分野 II 母性看護学 2 母性看護学各論,第14版,東京,医学書院,640 p,2021. 平澤美恵子・村上睦子:新訂版 写真でわかる 母性看護技術アドバンス [Web 動画付],初版,東京,インターメディカ,160P,2020.

授業科目(単位一時間)	時 期	担 当 講 師
母性看護学 方法論Ⅱ(1単位─30時間)	2年 後期	亀井 聡子・古館 二奈

- 1. 分娩期と産褥期の対象理解と対象の産み育てる力を活かす看護が理解できる。
- 2. 育児支援という看護の視点をもち、支援者としての役割と態度を養う。
- 3. 新生児の対象理解と健康な成長を助けるための看護の役割が理解できる。
- 4. 妊娠や出産は母子の健康危機をともなうことを学び、異常時の妊産婦および胎児・新生児への影響と看護の役割を理解することができる。

を理解するこ			
単元	単元目標	内容	方 法
1. 分娩期にあ	1. 分娩開始と経過が理解で	1. 分娩開始と経過	講義・GW
る対象と必	きる。	1) 分娩の三要素	(6 時間)
要な看護	2. 分娩進行に伴う産婦、胎	2. 分娩進行に伴う産婦・胎児の変化と看護アセスメント	亀井
	児の健康状態から看護ケ	1) 分娩第 1 期~4 期のアセスメント	
	アが考えられる。	2)分娩進行を促す看護	
	3. 産痛緩和法が習得でき	3. 産痛と看護ケア	
	る。	1)補助動作と呼吸法	
	4. 分娩期の異常が理解でき	4. 分娩進行と産婦・胎児のリスク	
	る。	5. 分娩経過中の異常	
2. 産褥期にあ	1. 褥婦の身体的変化と心理	1. 産褥期の身体変化と適応	講義・GW
る対象と必	的適応を理解する。	(進行性変化・退行性変化)	(8 時間)
要な看護	2. 産褥期の母親の発達課題	1)全身・生殖器の変化と適応	演習
	を理解できる。	2. 褥婦への看護ケア	(4 時間)
	3. 産褥早期の母親に対する	1) 早期離床と褥婦のセルフケア能力を高める支援	亀井
	看護ケアが考えられる。	(1)子宮復古の観察、悪露交換	
	4. 母乳育児の特性を理解で	2) 快適な活動と休息のための生活環境の調整	
	きる。	(1) 産褥体操	
	5. 母乳育児支援に役立つ情	3. 褥婦の心理社会的変化のアセスメントと看護	
	報提供と看護ケアが理解	1) 母親役割獲得	
	できる。	2) 母親と子どもの愛着・母子相互作用	
	6. 産褥期の健康問題と看護	3) 褥婦の心理をふまえた看護	
	が理解できる。	4) 育児指導	
		4. 母乳育児と看護	
		1) 母乳育児の基礎知識	
		2) 母乳育児を促進する看護	(2 時間)
		5. 産褥期に特有な健康問題と看護	古館
3. 新生児期に	1. 新生児の生理的特徴が理	1. 新生児とは	講義・GW
ある対象と	解できる。	2. 新生児の生理学的適応	(4 時間)
必要な看護	2. 早期新生児期の標準的な	3. 新生児の観察とアセスメント	演習
	看護ケアが理解できる。	4. 早期新生児期の看護ケア	(6 時間)
	3. 基本的な育児技術が習得	1) 出生直後のケア、生後 24 時間以内のケア、生後 24	亀井
	できる。	時間以降のケア	
	4. 新生児期の異常と看護が	2) 新生児の事故防止 3) 沐浴	
	理解できる。	5. 新生児期の健康問題と看護	
〈評価〉	筆記試験 (8割)、提出物・	受業態度・出席状況(2割)を総合して評価する。	

〈 評 価 〉筆記試験 (8割)、提出物・授業態度・出席状況 (2割) を総合して評価する。 ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉

森恵美他:系統看護学講座 専門分野II 母性看護学2 母性看護学各論,第14版,東京,医学書院,640p,2021. 平澤美恵子・村上睦子:新訂版 写真でわかる 母性看護技術アドバンス,初版,東京,インターメディカ,160P,2020.

授業科目(単位一時間)	時 期	担 当 講 師
母性看護学 方法論Ⅲ(1 単位—15 時間)	3年 前期	亀井 聡子・田尻 美紀

- 1. 女性の健康問題について幅広く学び、人としての健康と母性としての健康を理解することができる。
- 2. ウェルネスの視点から妊産婦および新生児の健康促進や生活への看護展開が習得できる。

2. リエルイスの悦点	から灶産帰わよい新生児の健康	促進や生活への有護展開か省侍でさる。	
単元	単元目標	内容	方 法
1. 生殖をめぐる問	1. 不妊という健康問題の身	1. 不妊カップルの理解と看護	講義・GW (2 時間)
題	体的側面と治療的側面を	1) 不妊の原因と治療法	
	理解できる。	2) 不妊カップルの心理社会的反応	
	2. 出生前診断の適応が理解	2. 出生前診断	
	できる。		
	-		
2. 女性生殖器疾患	1. おもな婦人科疾患が理解	1. 女性生殖器疾患を持つ対象の理解	講義・GW (2 時間)
と看護	できる。	1)おもな婦人科疾患	
		2)生じやすい心理的問題	
3. 母性看護におけ	1. 母性看護における看護過	1. 母性看護における対象理解	講義・GW
る看護過程	程が展開できる。	2. 健康課題の導き方と課題の決定	(12 時間)
	12.0 /20/11 4 C 00	3. 看護計画の立案	(22 - 311.3)
		4. 実習記録用紙の活用方法	
		1. 天自己的 1/100 / 7日/11/71公	

〈評価〉

筆記試験(8割)、提出物・授業態度・出席状況(2割)を総合して評価する。 ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉

森恵美他:系統看護学講座 専門分野II 母性看護学2 母性看護学各論,第14版,東京,医学書院,640 p,2021. 平澤美恵子・村上睦子:新訂版 写真でわかる 母性看護技術アドバンス[Web 動画付],初版,東京,インターメディカ,160P,2020.

池田 正:系統看護学講座 専門分野 II 成人看護学 9 女性生殖器,第 15 版,東京,医学書院,400 p ,2019 .

授業科目(単位―時間)	時 期	担 当 講 師
精神看護学 概論(1 単位—30 時間)	2年 前期	細海 克守

- 1. 精神の健康についての考え方を学び健康をおびやかす要因を理解し、その予防や支援のあり方を理解できる。
- 2. 精神看護の対象と役割・機能についての概略をとらえ、精神看護における今後の課題について理解できる。

単元	単元目標	内容	方法
1. 精神の健康と障害	 精神看護の目的と役割について理解する。 こころの健康を捉えるうえでさまざまな側面とその関連性を理解する。 	1. 精神看護とは 1) 精神看護学の考え方と課題 2) 精神障害者の法律的定義 2. 精神の健康と障害 1) 精神の健康と障害の3つの側面 3. 精神障害のとらえ方 1) 国際生活機能分類(ICF)	講義・VTR 視聴 (6 時間) 細海
2. 人間の心の働き	 心のしくみと働きを理解する。 発達段階における心の発達を理解する。 精神看護に必要な理論を理解する。 	 人間の心の諸活動 人格と気質 知能 意識と認知機能 心のしくみと人格の発達 精神分析と精神力動論 精神看護に必要な様々な理論 	講義・VTR 視聴 (6 時間) 細海
3. 心の危機とストレス	 ストレス対処行動と危機介入の方法を理解する。 こころの健康を保持・増進させるための基礎的方法を理解する。 	1. 危機とストレス対処 2. ストレスとコーピング	講義 (2 時間) 細海
4. ケアの人間関係	1. 患者―看護師看護師関係の 理解と援助関係を構築させ る技術について理解する。 2. 再構成の活用方法を理解 する。	 ケアの原則と方法 患者一看護師関係の理解 関係をアセスメントする ペプロウ 患者―看護師関係の発展方法 再構成の目的と意義 	講義 (6 時間) 演習 (4 時間) 細海
5. 精神科で出会う 人々 (評 価)	1. 精神に障害をもつ対象を理解するための基礎的知識として、主な精神症状と状態像、精神障害を理解する。	1. さまざまな精神症状 2. 精神障害の診断と分類	講義・VTR 視聴 (6 時間) 細海

〈評価〉

筆記試験(8割)、提出物(1割)、出席状況・授業態度(1割)を総合して評価する。 ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉

武井麻子他:系統看護学講座専門分野 Π 精神看護学 1. 第 6 版,東京,医学書院,424 p,2021. 武井麻子他:系統看護学講座専門分野 Π 精神看護学 2. 第 6 版,東京,医学書院,448 p,2021.

授業科目(単位―時間)	時 期	担 当 講 師
精神看護学 方法論 I (1単位—30時間)	2年 後期	更谷 周子・細海 克守

- 1. 精神障害者の生活に及ぼす健康課題を理解し、安全・安楽に看護をできる基礎を学ぶ。
- 2. 対象の特徴を理解し、倫理観をもち権利を尊重する態度を養う。
- 3. 精神に健康課題をもつ対象と患者―看護者関係を発展するための態度を養う。

単元	単元目標	内容	方法
1. 関係のなかの人間	1. 家族関係と精神の健康問題 について理解する。 2. 集団の意義について理解 する。	 1. 全体としての家族 1) 家族のなかの役割関係 2. 人間と集団 1) グループプロセス 2) グループダイナミクス 	講義 (4 時間) DVD 視聴 (2 時間) 細海
2. 回復を支援する	1.対象の入院から回復までの 経過を理解する。	 1. 入院の意味の理解 2. 治療的関係の調整 3. 精神保健福祉法による入院形態 4. 安全を守る看護 	講義(4 時間) 細海
3. 安全を守る	 リスクマネジメントの 考え方と方法 緊急事態に対処する 	 行動制限(隔離、身体拘束)における 看護 自殺、暴力、無断離院等の予防と対処 	講義(4 時間) 細海
4. 身体をケアする	 精神科における身体合併症 を理解する。 日常生活に影響を及ぼす有 害反応と援助について理解 する。 	 身体のケア、心の痛み 身体合併症 服薬の援助 身体ケアの実際 	講義(4 時間) 更谷
5. 日常生活援助技術	1. 精神状態と関連した日常生 活行動の看護を理解する。	1. 活動と休息 (睡眠障害) 2. 食事と栄養 3. 排泄 4. 清潔 5. 身だしなみ 6. 私物と金銭の取り扱い	講義(4 時間) 更谷
6. 精神科における 治療と回復	 精神科の治療を理解する。 精神障害の回復の過程や方法を理解する。 精神障害者のリカバリーと援助技術 	 薬物療法 精神療法 認知行動療法 環境療法・社会療法 回復の過程と方法 リカバリー・レジリエンス 	講義(2 時間) 更谷
7. 精神症状マネジメント	1. 主な精神症状と看護を理解 する。	 幻覚・妄想 摂食障害 抑うつ アディクション(嗜癖) 	講義(6 時間) 更谷

〈 評 価 〉

筆記試験(8割)、提出物(1割)、出席状況・授業態度 (1割) を総合して評価する。 ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉

武井麻子他:系統看護学講座専門分野 Π 精神看護学 1. 第 6 版,東京,医学書院,424 p ,2021. 武井麻子他:系統看護学講座専門分野 Π 精神看護学 2. 第 6 版,東京,医学書院,448 p ,2021.

授業科目(単位一時間)	時 期	担 当 講 師
精神看護学 方法論Ⅱ(1単位—15時間)	2年 後期	更谷 周子・佐々木 旭美

- 1. 社会生活に及ぼす健康課題を理解し、対象の自立、回復についてその援助のあり方と看護の役割を学ぶ。
- 2. 社会と精神障害者との関係を理解し、他の専門職と協働するための基礎的能力を身につける。

単元	単元目標	内容	方法
1. 地域におけるケア と支援	1. 地域で生活を継続するため の支援方法について理解す る。 2. 精神医学、看護のあゆみか ら現状を理解する。	1. 地域で生活するための原則 2. 生活を支える制度 1) 社会福祉施設 2) 保健医療福祉サービスの提供の場の 理解 3) 訪問看護 4) 地域での看護の実際 3. 精神障害と治療の歴史 4. 精神障害と法制度	講義(8 時間) 佐々木
2. リエゾン精神看護	 身体疾患患者の示す精神症状への看護を理解する。 サバイバーとしての患者とそのケア 	 身体疾患と精神看護 リエゾン精神看護 自傷行為、心的外傷の回復 	講義(2 時間) 更谷
3. 医療の現場におけるメンタルヘルスと看護	1. 感情労働としての看護を知る。 2. レジリエンスを理解する。	 感情労働としての看護 看護師の感情ワーク 感情労働の代償 レジリエンスを高める リフレクション 	講義(2 時間) 更谷
4. 主な精神疾患の看護の視点での捉え方	1.看護につながる病態を把握する。	 1. 看護につながる病態の理解(病態関連図作成) 1)統合失調症 2)気分【感情】障害(ICD-10) 3)アルツハイマー型認知症 4)レビー小体型認知症 	グループワーク (4 時間) 更谷

〈評価〉

佐々木講師:40点

更谷講師:60点(筆記試験30点・提出物20点・出席状況授業態度10点)

ただし、筆記試験はそれのみで合格しなければならない。

〈 テキストおよび参考文献 〉

武井麻子他:系統看護学講座専門分野 II 精神看護学 1. 第 6 版,東京,医学書院,424 p,2021. 武井麻子他:系統看護学講座専門分野 II 精神看護学 2. 第 6 版,東京,医学書院,448 p,2021.

授業科目(単位―時間)	時 期	担 当 講 師
精神看護学 方法論Ⅲ(1単位─15時間)	3年 前期	更谷 周子・鈴木 伸之

- 1. 精神障害・精神疾患のある対象者を理解し、対象の個別性に合わせた看護を科学的に実践する方法を身につける。
- 2. 対象の QOL を支える看護の基礎を身につける。
- 3. 精神科リハビリテーションを理解する。

単元	単元目標	内容	方法
1. 精神障害・精神疾患	1. 精神障害・精神疾患のある	1. KOMI 記録システムを用いた看護過程	看護過程演習
のある対象者の看	対象者の看護過程の展開が	演習	(14 時間)
護過程演習	できる。	1)精神障害・精神疾患のある対象者を	更谷
攻地往风日		全人的に把握するために必要な系統	χη
		的な情報の内容整理	
		2)精神障害を持つことによって引き起	
		こされる日常生活の困難の理解と援	
		助方法	
		93/3144	
2. 精神保健活動とリ	1. 精神に健康課題のある対象	1. 地域精神保健活動における社会資源	講義 (2 時間)
ハビリテーション	にとっての回復を助けるた	の活用	鈴木
	めの様々な方法を理解でき	2. 精神科リハビリテーションの考え方	35/45/1
	る。 る。	1) リハビリテーションの歴史	
		2)障害のとらえ方	
		3)作業療法、レクリエーション療法	
		デイケア	

〈評価〉

演習評価表を用いて評価する。

〈 テキストおよび参考文献 〉

武井麻子他:系統看護学講座専門分野 II 精神看護学 1. 第 6 版,東京,医学書院,424 p,2021. 武井麻子他:系統看護学講座専門分野 II 精神看護学 2. 第 6 版,東京,医学書院,448 p,2021.

山本勝則他:看護実践のための根拠がわかる精神看護技術.第2版,東京,メヂカルフレンド社,317p,2015.

金井一薫 : 実践を創る 新・KOMI チャートシステム, 第1版, 東京, 現代社, 102p, 2013.